

ボート

ダブル スカル 青木さんペア1位 竹村さん インターハイ出場へ

息を合わせオールを漕ぐ青木さんと竹村さん



シングル スカル 石田君 2位



青木さん(左)と竹村さん(中央)と石田君(右)

力いっぱいオールを漕ぐ石田君



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金龜町4番7号

5月25日、大津市の瀬田川で行われた春季総合体育大会ボート競技で竹村文菜さん(3 6)と青木祐里奈さん(2 5)が女子ダブルスカルの部で第1位、石田良知君(3 1)がシングルスカルの部で第2位という結果を残した。

の反省点を話す竹村さんに普段の練習内容を聞くと、「漕いでる様子をビデオを撮ってもらい、いろんな人に見てもらって感想を聞き、どうすればいいのかを考えている。また、他のクルーの漕ぎ方を見て自分たちの漕ぎ方と比べている」と教えてくれた。

竹村さんと青木さんのペアは決勝戦前の練習中に青木さんのオールが折れ、急遽別のオールを使用して試合に臨んだ。大会の感想を聞くと竹村さんは「オールが折れたことは特に気にしなかったし、それでも負けると思わなかった」と、青木さんは「試合中使用したオールは普段のものより重く、1000M漕ぎ続けられないかもしれないと思ったが、1位でゴールできたので嬉しかった」とそれぞれの心境を笑顔で話した。また、青木さんは「試合に負けたら先輩が引退してしまうので、頑張った。先輩との最後の思い出に残るような結果が出て良かった」とも話した。

8月3日から6日に福岡で行われる予定であるインターハイでの目標を聞くと青木さんは「上位を目指す」と、竹村さんは「最後の大会になるので決勝レースに出たい」とそれぞれ決意を表明した。

また、シングルスカル第2位となった石田君は「今まで頑張ってきた分1位になれなくて本当に悔しかった。焦りが要因だ」と今回の大会の結果を振り返った。今後、石田君は近畿高等学校総合体育大会ボート競技、滋賀県民大会大会ボート競技兼国体選考会に出場し、JOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニア選手権大会で決勝5位以内に入ればヨーロッパのあるリトアニアの世界大会出場できる。「どの大会でも上位に入れるように細かいオールさばきを一から見直したり筋力強化するなどして大会に臨みたい」と意気込みを話した。

「いつもは300M地点辺りで他のボートを抜いていたのに、今回は600M地点くらいまで競ったので、スタートダッシュを練習して、良いスタートを切りたい」と今回